



Subaru

昇  
男声合唱団

ニュース№626

'17. 9. 4

9月3日

## 合発曲と、11+hコン第2部曲、特団曲をレッスン

□ 9月3日(日)の強化レッスンは、佃さんの体操、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、11thコンサートの第2部の曲および合唱発表会曲をレッスンしました。まず伊藤副指揮者の指揮で、「歎びのナーダム」、続いて本並先生の指揮で「ヴォルガの歌」、「ルスカエ・ポーリエ」、「仕事の歌」をレッスン、引き続き、合唱発表曲の「ぶどうとかたぼみ」と「このみち」を間近の発表会へ向けて熱のこもったレッスンをしました。ピアノは森二三さん、参加は全33名でした。

### □ レッスン一ロメモ

『歎びのナーダム』・「ナーダムうーだ ナーダムうーだ」；「ナーダムだ ナーダムだ」とならないよう。・「ナーダムうーだ ナーダムうーだ モンゴルのなああつーは ナーダムに燃ええよ ホツツホー」；下線部分は装飾音符でうたう。・前奏の間に入場するが、入場の時から体も顔も明るく軽やかに。・「ヘイヘイヘイ・・・」高音部はファルセットで。・言葉の最初をはっきり。ほか沢山の指摘指導がありました。

『ヴォルガの歌』・音を伸ばす部分に「ア」行が多い。平べったい響きとならぬよう口を縦に。・ロシアの友；おっさん声とならぬよう、河を愛するようにうたう。・切らずに続けて歌う箇所；10小節から「ロシアのともひろき一流れ」、19小節から「オイヴォルガよヴォルガ楽しきとき」。



『ルスカエ・ポーリエ』・12/8のリズムをキリッと。・「うなばらにもー」母音をつなげて発声。・最後の「ルスカエ・ポーリエー」ritのところ、指揮者と気持ちをあわせて。・きれいなメロディーなのできれいな声で。

『ぶどうとかたばみ』・「あさやけー ことばー」；メゾスタックカートは丁寧に。・ピッチが下がり気味；ピッチを保ち思いを載せる。・「たまおととどろき」；「たまおとー」で楽譜通り切る。・29小節「くるしみのはなー」；poco ritは指揮をよく見て。

『このみち』・全体にもっと明るく、ピッチが少し低い。・3題目、「このみちのさきには」；もっと、ひろびろと。さいごの「みんなでみんなでゆこうよ このみちをゆこうよ」は指揮者は見なくてよい。客席へ向かってうたいかける。

□ 13時から15時までが強化レッスン、その後、15時から17時まで、特別団員を加えて、「特別団員とともに」の4曲をレッスンしました。今日の特団員参加はちょっと少なくて4名でした。

〈伊藤副指揮者〉

『さとうきび畑』・楽譜が一部変わりました（2017年8月28日第3番 改訂 尾上；今までの楽譜と差し換えてください）。変わったところの音とりを重点にレッスンしました。

『芭蕉布』・オブリガートのところを各パートごとに音とり復習しました。

〈本並先生〉

『労働者の合唱』・合唱部分を重点的に練習。

『沖縄を返せ』・BS I、IIの25、29小節の「かえせ」はつきり、くつきり。

